

適性検査問題にチャレンジ①

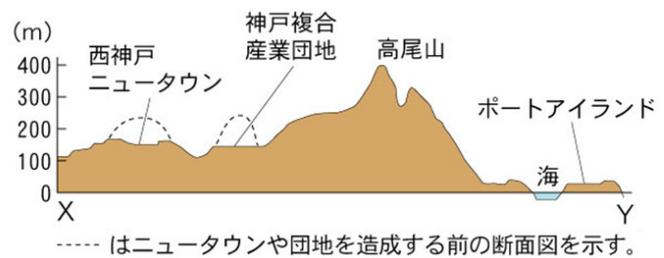
次の文章を読み、資料1・2を見て、あとの問題に答えなさい。

神戸市は兵庫県の県庁所在地です。また、政令指定都市にも指定されるほど多くの人口を有しています。しかし、神戸市は北側に山地がせまっております平地が少なかったため、過密化を解消するために、大阪湾にポートアイランドや六甲アイランドといううめ立て地をつくりました。ポートアイランドは、工事期間が40年におよぶ大規模な工事になりました。また、同時期に西神戸ニュータウンや神戸複合産業団地なども造成されていきました。

資料1 神戸付近の開発の様子



資料2 X-Yの断面図



問題 ポートアイランドのうめ立て工事と西神戸ニュータウンや神戸複合産業団地の造成は、ほぼ同時期におこなわれました。これらの事業が同時におこなわれた理由を、資料1・2をもとに説明しなさい。

適性検査問題にチャレンジ① 解答解説

解答例

ニュータウンを造成するためにほった土砂を、ポートアイランドのうめ立てに利用するために、同時期に工事がおこなわれた。

解説

海をうめ立てるためには大量の土砂が必要です。そこで、このうめ立て工事をおこなった神戸市は、同時期に播磨平野東部の丘陵地はりま きゅうりょうちに西神戸ニュータウンや神戸複合産業団地を造成することで、そこから出る大量の土砂をベルトコンベアで海岸線まで運び、ポートアイランドのうめ立てに利用するという一大事業をおこないました。このベルトコンベアは、全長14.5キロメートルにおよぶ巨大きよだいなもので、およそ40年の工事期間中、合計5億7800万トンの土砂が運ばれ、その土砂をうめ立てに利用することで、ポートアイランドや六甲アイランド、そして、神戸空港がつくられました。